

2014年12月2日  
東日本旅客鉄道株式会社

～森林資源の利活用の推進・環境にやさしいエネルギーの創出を目指し～  
青森県八戸市でのバイオマス発電事業会社への出資参画

JR東日本は、「グループ経営構想（ファイブ）～限りなき前進～（2012年10月発表）」において再生可能エネルギーの導入を積極的に推進しており、北東北エリアの「再生可能エネルギー基地」化を目標に様々な取り組みを行っています。コンセプトワード「地域に生きる。」を実現すべく、今回、本バイオマス発電会社事業に参画し、環境にやさしいエネルギーの創出（CO2削減）、地域への貢献（地域の活性化）に積極的に取り組んでまいります。

東日本旅客鉄道株式会社（社長：富田 哲郎、本社：東京都渋谷区、以下「JR 東日本」）は、住友林業株式会社（社長：市川 晃、本社：東京都千代田区、以下「住友林業」）及び住友大阪セメント株式会社（社長：関根 福一、本社：東京都千代田区、以下「住友大阪セメント」）と共に、未利用の林地残材や間伐材等を利用したバイオマス発電会社である八戸バイオマス発電株式会社（以下「新会社」）を合併にて設立し、青森県八戸市においてバイオマス発電事業を行うこととなりましたのでお知らせいたします。

本事業は、新会社が八戸港付近の工業用地に、発電規模約12MWのバイオマス発電施設を建設し、再生可能エネルギー固定価格買取制度を利用した発電事業を行うものです。

燃料の木質チップは、主に青森県三八・上北・下北地域の間伐材や製材端材、周辺鉄道沿線の鉄道林の間伐材などを地元関係者の協力を得ながら集荷する他に、一部パームヤシ殻も使用する予定です。

本事業を通じ、環境にやさしいエネルギーの創出が図られるとともに、該当地域の森林環境の整備が促進されるなど、林業振興にも大きく貢献するほか、雇用の創出にも寄与することなど地域への貢献が期待されます。

## 新会社概要

名称	八戸バイオマス発電株式会社
所在地	東京都千代田区 ( 建設工事着手時に青森県八戸市に移転予定)
資本金	300 百万円
比率	住友林業 52% 住友大阪セメント 30% JR 東日本 18%
事業内容	バイオマス発電による電気供給事業
使用燃料	林地の未利用木材、製材端材、周辺鉄道林の間伐材、パームヤシ殻等 (年間約 13 万トン)
主要設備	流動層ボイラー、蒸気タービン発電機
発電規模	発電端出力:約 12MW (送電端出力:10.5MW)
年間発電量	約 85,000MWh(一般家庭約 17,000 世帯分の年間使用電力量に相当)
建設スケジュール(予定)	着工:2015 年 6 月 竣工:2017 年 10 月 営業運転開始:2017 年 12 月
設立年月日	2014 年 10 月 28 日
三者 協力協定締結日 (予定)	2015 年 1 月 16 日

青森県・八戸市・八戸バイオマス発電株式会社

## 豊かな自然環境を活かした北東北エリアの「再生可能エネルギー基地」化



### 【風力】

沿岸等の豊富な風力資源

秋田下浜風力発電所  
風況調査実施中



イメージ図

### 【太陽光】

男鹿線・奥羽本線  
太陽光発電計約3.1MW  
(2014年度末使用開始予定)

岩手県花巻市  
太陽光発電約0.3MW  
(2014年度末使用開始予定)

### 【首都圏でのメガソーラー】

京葉車両センター 常磐線友部内原間  
約1MW(自家消費) 約4.2MW  
(2014.2使用開始) (2014年度末使用開始予定)

### 【バイオマス】

東北地方の豊富な森林資源・鉄道林



八戸バイオマス発電所  
約12MW計画

### 【再生可能エネルギーの導入目的】

1. 環境にやさしいエネルギーの創出
2. 地域への貢献

「地域に生きる。」

### 【地熱】

東北地方火山地域の豊富な地熱資源

八甲田北西地域 地熱資源開発調査  
JOGMEC事業採択・地上調査実施中